

インドネシア共和国

Republic of Indonesia



ジャカルタ



バリ島の子供たち

面積 : 1,913,579km²
 人口 : 約2億6,532万人
 (2018年推定値)
 首都 : ジャカルタ
 政治体制 : 大統領制、共和制
 主な言語 : インドネシア語
 主な宗教 : イスラム教
 通貨 : ルピア

13,000以上の島々からなる多民族国家

ASEAN最大の人口(世界4位)と国土をもつインドネシアは、赤道に沿った13,000以上の島々からなる多民族国家です。国民の90%がイスラム教徒で、世界で一番イスラム教徒の多い国ですが信仰は自由で、さまざまな民族や文化、宗教を尊重し、「多様性の中の統一」が特徴です。1997年のアジア通貨危機後、好調な内需に支えられていち早く経済が回復しており、現在は積極的に投資誘致を進めて

います。日本はインドネシアにとって最大の輸出相手国であるとともに、インドネシアは日本にとって重要なエネルギー供給国です。また、インドネシアには東南アジア屈指のリゾートアイランドであるバリ島や世界遺産ポロブドゥールを始めとした魅力的な観光スポットがあり、日本人旅行者も多く訪れます。

1位 日本が今後重要なパートナーになると答えた人の割合

1位	インドネシア	68%
2位	フィリピン	62%
3位	ベトナム	59%

ASEAN10カ国を対象とした対日世論調査で、日本が今後重要なパートナーとなると答えた人の割合が最も多い国!

出典: 外務省 対日世論調査 (2017年発表)

ラオス人民民主共和国

Lao People's Democratic Republic



タートルアン



朝の托鉢風景

面積 : 236,800km²
 人口 : 約678万人 (2018年推定値)
 首都 : ビエンチャン
 政治体制 : 人民民主共和制
 主な言語 : ラオス語
 主な宗教 : 仏教
 通貨 : キップ

経済改革で新たな成長を目指す

ラオスはベトナム、カンボジア、タイ、ミャンマー、中国の5つの国と国境を接し、ASEAN唯一の内陸国です。日本の本州程の国土に約50の民族が暮らしており、国民の約70%が熱心な仏教徒です。メコン川が南北に流れ、水資源に恵まれた豊かな自然を擁しています。1975年以降の計画経済が行き詰まったことにより経済発展が遅れていましたが、1986年に着手された「新経済メカニズム」と呼ばれる経

済改革により、市場経済の導入と開放経済政策を進めています。主要産業は農業であり、コーヒーは重要な輸出農産品です。その一方で観光産業にも力を入れています。

日本は政府開発援助事業の一環として、世界遺産に登録されているワット・プー遺跡を保護・保存するための無償協力や、橋や道路等のインフラ整備など、さまざまな経済協力を行ってきました。

1位 ラオスへのODA主要供与国 (2007年~2016年/10年間累計)*

1位	日本	31%
2位	オーストラリア	14%
3位	韓国	12%

ラオスにとって日本は最大の政府開発援助 (ODA) 供与国!

出典: OECD

*経済協力開発機構 (OECD) の開発援助委員会 (DAC) 加盟国による二国間ODA総額に占める割合

マレーシア

Malaysia



ペトロナス・ツインタワー



マレーシアの人々

面積 : 331,388km²
 人口 : 約3,247万人 (2018年推定値)
 首都 : クアラルンプール
 政治体制 : 立憲君主制 (議会制民主主義)
 主な言語 : マレー語、中国語、タミール語
 主な宗教 : イスラム教、仏教、キリスト教
 通貨 : リンギット

「ルック・イースト政策」は日本マレーシア間の友好協力関係のシンボル

マレーシアは、イスラム教を中心としたマレー文化、中国文化、ヒンドゥー文化といった多様な文化が共存する多民族国家です。世界最古とも言われるマレーシアの熱帯雨林の一部は、その多様な生態系の貴重性から世界自然遺産に登録されています。かつてはゴム、石油、錫などの輸出に依存していましたが、1970年代以降、外資の積極的な導入により工業化や技術移転を推進し、急速な経済発展を遂

げました。現在は2020年までに先進国入りを果たす「ビジョン2020」長期開発政策を推進中です。

1981年に就任した第4代マハティール首相は、アジアの先進国である日本に学ぼうという「ルック・イースト政策 (東方政策)」を掲げました。マレーシアは日本への派遣留学と技術研修を積極的に実施し、両国の友好協力関係にも大きく貢献してきました。

1位 日本人のロングステイ希望国 (2017年)

1位	マレーシア
2位	タイ
5位	フィリピン
8位	シンガポール

日本人がロングステイしたい国、12年連続第1位!

出典: ロングステイ財団

ミャンマー連邦共和国

Republic of the Union of Myanmar



バガン



タナカ・パウダーを顔に塗った少女

面積 : 676,576km²
 人口 : 約5,283万人 (2018年推定値)
 首都 : ネービードー (旧首都: ヤンゴン)
 政治体制 : 大統領制、共和制
 主な言語 : ミャンマー語
 主な宗教 : 仏教
 通貨 : チャット

民主化に伴い、注目される資源と高い潜在成長力

ミャンマーは130以上の少数民族が住む多民族国家で、インド、中国、ラオス、タイと国境を接し、ベンガル湾、アンダマン海に面した肥沃な国土を持つ国です。就労人口の半分以上が農業にたずさわる農業国です。日本の約1.8倍の国土に5,000万人以上の人口と豊富な天然資源を擁することから、経済発展の潜在性が高いといわれています。1962年に始まった閉鎖的な社会主義経済政策によって国内の経済活動は低迷していましたが、

2010年に20年ぶりとなる総選挙が実施され、現在は民主化と経済発展が進み、新たな投資先として注目を集めています。また、ミャンマーはバガンの仏教遺跡、ヤンゴンの壮麗なシュエダゴン・パゴダや豊かな自然など、多くの魅力的な観光資源を擁し、今後の観光産業の成長にも期待が集まっています。

日本とミャンマーの間には長期にわたる友好関係があり、さまざまなレベルでの交流が行われています。

6倍 ミャンマーにおける日系企業数

2012年	75社
2017年	438社

ミャンマーにおける日系企業数は438社 (2017年) で、5年前の約6倍。ASEAN10カ国中、増加率第1位。

出典: 外務省在留邦人統計 (日系企業数)